



子育て支援活動の表彰



より良い子育て環境づくりに取り組む団体や個人を表彰します。

表彰

- 文部科学大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
- スミセイ未来大賞 表彰盾、副賞100万円(2組程度)
- 厚生労働大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
- スミセイ未来賞 表彰盾、副賞50万円(10組程度)

応募方法

「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで募集要項をご確認のうえ、応募用紙をダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。

必要資料

- ① 応募用紙(webサイトよりダウンロード)
- ② 活動の様子がわかる写真
- ③ その他の活動内容がわかる資料(パンフレットなど)



昨年度受賞団体のご紹介



文部科学
大臣賞

特定非営利活動法人
浜松外国人子ども教育
支援協会 (TOMO2)
静岡県浜松市



厚生労働
大臣賞

特定非営利活動法人
子育てネットくすくす
香川県善通寺市

外国につながる子どもたちの支援活動

浜松では、外国人家族の定住化・永住化が進む一方で、言葉や文化の違いから学校生活を円滑に送れない子どもたちが多くいます。「TOMO2」では、スタッフを学校に派遣し、教師と連携して、この子どもたちをサポート。子どもたちのアイデンティティ形成の観点から、日本語だけでなく母語の支援にも力を注いでいます。

障がいのあるなしにかかわらず、総合的な子育て支援活動を展開子育てに必要なサービスを自らの手でつくりだし、地域の協力を得て、子育てひろばの運営や障がい児の通所支援、各種相談事業など多様な支援活動を行っています。大学生やシニアをはじめ多くのボランティアが参加し、地域全体で子育てを支えることができるまちづくりをめざしています。



女性研究者への支援



子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に努力されている女性研究者を支援します。

表彰 ● スミセイ女性研究者奨励賞 10名程度

助成金として1年間に100万円(上限)を2年間まで支給します。助成期間は2021年4月から2023年3月までの2年間の予定です。

応募方法

「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで募集要項をご確認のうえ、応募用紙をダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。

必要資料

- ① 応募用紙(webサイトよりダウンロード)
 - ② 最近の論文など、1、2点
- ※資料の点数は審査の対象になりません。
資料類は角2版封筒(A4版が入る大きさ)に入る程度の量とします。



受賞者のご紹介

第3回(2009年)
スミセイ女性研究者支援受賞

田中 淑江
共立女子大学 家政学部 教授
[研究分野] 被服造形学(和裁) 染織品保存修復

本プロジェクトの助成を受けたのは、私が博士課程に所属し、子どもがまだ小学生と幼稚園の頃でした。子育てもただで、家族の協力以外に地域のファミリーサポートも利用していました。助成を活用し大変な時期を乗り越え、現在では母校で教授として教鞭を執っており、子どもの成長を励みに、夢や目標を常にぶれることなく持ち続けることで、道が開けたのだと思います。

募集期間、選考などについて

募集期間 2020年7月13日(月)～2020年9月4日(金)必着

選考 事務局による選考の後、「未来を強くする子育てプロジェクト」選考委員会による選考会を経て、受賞者を決定します。

発表 受賞者は、2021年3月に都内で実施予定の表彰式*および「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイト等で発表します。受賞者には2021年1月末までに直接ご連絡します。

※表彰式は、新型コロナウイルスの収束状況によっては、実施内容を変更する可能性があります。

選考委員

選考委員長 汐見 稔幸 [東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長]

選考委員 大日向 雅美 [恵泉女学園大学学長]
奥山 千鶴子 [認定NPO法人びーのびーの理事長]
米田 佐知子 [子どもの未来サポートオフィス代表] 以上五十音順
高田 幸徳 [住友生命保険相互会社 執行役常務]

個人情報の取扱い

応募者の個人情報は、審査および運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。応募者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用することはありません。